

くりっぷ

学校 家庭 地域

学校を変える。教育が変わる。

内容

- **みんなで育てよう 子どもたちの生きる力!**
- **ますます進む、教育改革!**
次代を担う人づくりで、もっと「元気な広島県」へ
- おでかけガイド
- なるほど教育! おしえて広場Vol.3

平成18(2006)年 3月31日発行 広島県教育委員会

平成18年度「教育改革」施策特集

みんなで
育てよう

子どもたちの

生きる力!

次代の社会を担う子どもたちが将来、自立した社会人として活躍できるような「人づくり」が必要です。広島県では、これまで取り組んできた「知・徳・体の基礎・基本」の定着を徹底するとともに、「ことばの教育」や「キャリア教育」の推進など、教育内容の一層の充実・発展に取り組めます。また、学校教育の直接の担い手である教職員の資質・指導力の向上、学校経営体制の強化など信頼される学校づくりを進めるとともに、「県民総参加」による教育改革に取り組めます。



家庭での 取組みを応援

NEW! [家庭・地域教育力
支援充実事業]

家庭教育の大切さを知ってもらうために!

誰もが地域で行われているさまざまな活動に気軽に
参加し、みんなで「元気な広島っ子」を育みましょう!

- 「食べる」「遊ぶ」「読む」をテーマに、親子で料理、遊びの伝承、読み聞かせ教室などの活動を実施・計画している団体の取組みについて広く広報します。
- 「食・遊・読」に関して専門的なアドバイスができる指導者を紹介します。
- 活動団体と保護者の皆さんの交流会を開催。実践事例の発表や意見交換ができるワークショップを行います。



基本的な生活習慣で 元気づくり

食べる!遊ぶ!読む!
エデュケーション

「食べる!遊ぶ!読む!」で子どもの生活リズムを整えましょう。子どもたちにとって基本的な生活習慣を身に付けることは、学力・体力の向上や豊かな心の育成につながります。



子どもの食育の充実

学校では、さまざまな教育活動を通して、計画的に食育の推進に取り組むとともに、家庭や地域への情報提供に努めます。

大人と子どもが つながる居場所づくり

[地域・家庭教育力活性化推進事業]

非行などからの青少年の立ち直りを支援するため、地域のNPO団体、おやじの会などと連携して、スポーツ活動、奉仕活動、体験活動などを継続的に行っています。



子どもの安全を 地域で守ろう!

[地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業]

子どもたちに犯罪から身を守る意識を育てましょう! 地域で子どもを見守るために、あいさつ運動やパトロール活動など、一人一人ができることへのご協力をお願いします。学校安全ボランティア(スクールガード)養成講習会にぜひご参加ください。



家庭と地域、 学校はパートナー!

[教育モニター(教育改革推進懇談会)]

[ひろしま教育の日(11/1)・

学校へ行こう週間(11/1~7)]

皆さんのご意見は「教育モニター」を通じてお聞きし、施策に反映しています。また「学校へ行こう週間」には、各学校でどなたでも参加できるイベントを実施。家庭や地域と学校の連携をますます深めていきましょう。



安心して暮らせる・学べる環境づくりを!

家庭や地域の教育力が、子どもの伸びやかな成長の土台となります。

子どもの成長はみんなの夢、地域の宝。一緒に、教育改革を進めましょう!

広島県こども夢基金

子どもたちの夢をかなえる体験活動をみんなで応援しよう!



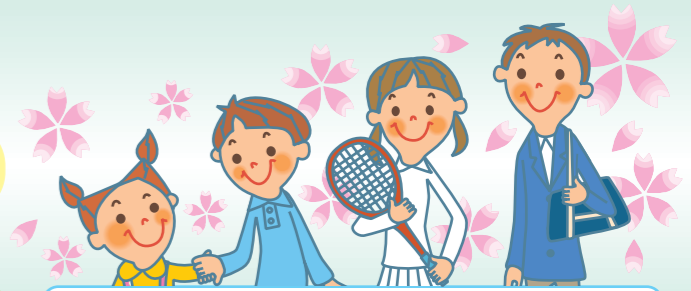
学校での取組みは中面へ



次代を担う人づくりで、もっと「元気な広島県」へ

ますます進む、教育改革！

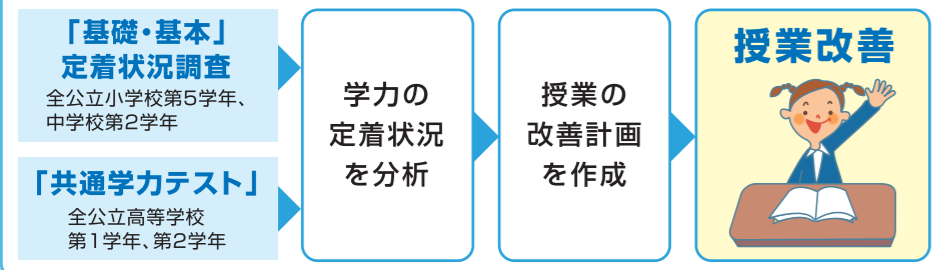
平成18年度「教育改革」施策特集



知 徳 体の基礎・基本を身に付けて、夢を描いて欲しいから。「教育の中身づくり」をもっと充実させます。

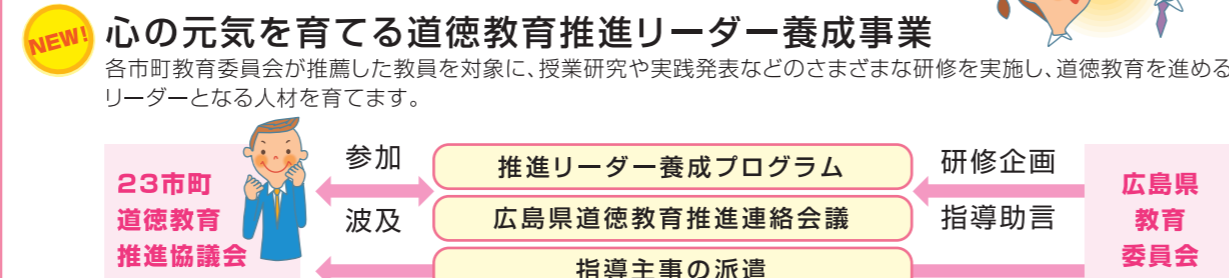
知 基礎・基本を徹底し、自ら学び自ら考える力などの「確かな学力」を育てます

- Q どうして「県全体」で学力調査をするの？
 - A 県内全体の学力の定着状況をきちんと把握することで、各学校がそれぞれの課題や状況に応じた授業改善の手がかりをつかみ、児童生徒に確実に基礎・基本を身に付けさせる授業を行うためです。
- Q 学校ではどのような取組みをしているの？
 - A 学校では「年間指導計画」を立てて授業を進めています。さらに学力調査の結果などを分析し、どれだけ基礎学力が身に付いているかをつかんでさらに授業改善を進めることで、一人一人の児童生徒に「確かな学力」を付けています。



徳 豊かな人間性や社会性をはくむために「心の元気」を育てます

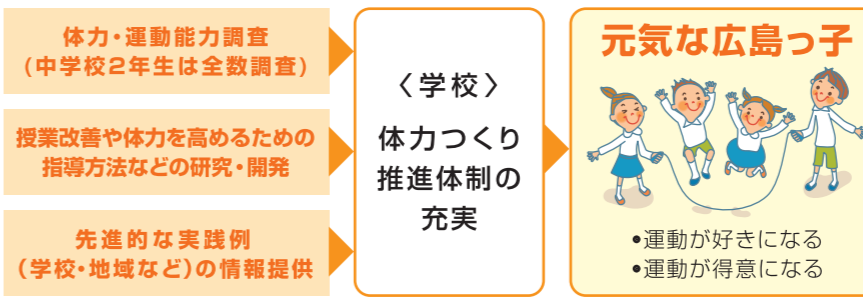
- Q どのような取組みをしているの？
 - A 子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むため、学校における道徳教育を一層進めるとともに、不登校児童生徒の学校復帰のための支援を進めます。



- Q どのような取組みをしているの？
 - A 新たな小・中学校20校(予定)を対象に「家庭訪問指導支援員」を配置し、不登校傾向にある児童生徒やその保護者を支援します。また長期不登校児童生徒へは「ボランティア活用」による家庭学習や体験活動などの支援を行っていきます。

体 活力ある生活の基礎となる、体力や運動能力「健やかな体」を育てます

- Q 子どもたちの体力・運動能力の現状は？
 - A 広島県の子どもの体力・運動能力は、着実に改善されています。しかし、まだ小・中学校期においては多くの種目で全国平均を下回っています。
- Q どのような取組みをしているの？
 - A 体力・運動能力調査を継続的に実施し、子どもたちの現状と課題をつかむとともに、小・中学校の体力づくり推進リーダーなどによる自主的な活動を支援することで、推進体制をより充実させ、家庭・地域と連携した取組みを進めています。



信頼できる学校づくりを進めています!!

学校自体の機能を高め、教育の場として本来持っている力を十分に発揮できる環境をつくります。

安心して学べる安全な環境づくり

- 安全な学校づくりの推進

アスベスト対策や耐震対策など、安全な学校環境整備に引き続き取り組みます。
- 子どもの安全確保の推進

防犯教室や地域安全マップづくりなどを通じた子どもの危険回避能力を高める「安全(防犯)教育」と、学校内外の安全点検や子どもの安全に関する情報の共有など「安全管理」の取組みを進めていきます。

NEW! AED普及促進事業

AEDを全県立学校や教育施設などに設置し、万が一の救命救急に備えます。

AED(自動体外式除細動器)とは?

生命に危険が生じる不整脈の状態に陥った際に、電気ショックを与えて心臓の動きを正常に戻す器械で、突然死を防ぐため普及が進んでいます。平成16年7月から、現場に居合わせた人(非医療従事者)がこの器械を使用して救命救急ができるようになりました。

「教育の中身づくり」を進める取組み 子どもたちに論理的に考える力や、自立するための力を身に付けさせます。

ことばの教育 学習や生活の基盤となる「ことばの力」を育てる

広島県では児童生徒に「確かな学力」と「豊かな心」を育むために、平成15年度から全国に先駆けて「ことばの教育」に取り組んでいます。今年度は、それらの取組みを全県に普及させていくための新たな施策を行います。

発表の場

- 「ことばの輝き」優秀作品表彰
- 感動体験ジュニア・レポーター

県民運動展開

- ことばについて考える100人委員会

パイロット校

効果的な指導方法や教材づくりを行ってきました。

全県へ普及

- NEW! 指導者養成講座の開設

地域の核となる指導者を養成する講座を開設します。
- NEW! 実践交流会の開催

教員や保護者を対象に、優れた実践を紹介します。
- STEP UP! 実践事例集の作成・配布

効果的な指導方法をまとめた事例集を作成し配布します。

キャリア教育 社会人として自立するための資質や能力を育てる

小・中・高校を通して、児童生徒の一人一人が将来職業を持つ社会人として自立していくために必要な意欲・態度や能力を育む教育に取り組みます。

STEP UP! キャリア教育実践モデル開発事業

全県展開の基礎づくりを進めます!

NEW! キャリア教育コーディネーターセミナー

教員の指導力をさらに高めていきます

NEW! 広島県キャリア教育推進フォーラム

県民にキャリア教育の意義を広めていきます!

年間指導計画の例 総合的な学習の時間 高校1年生(3学期制)

- 1学期
 - 社会人による講話(地域から学ぶ)
 - 職場体験学習(地域の事業所で仕事を体験)
- 2学期
 - 学部・学科研究(学部や学科について知る・調べる)
 - 上級学校訪問(訪問する学校を決め、訪問後は報告会を実施)
- 3学期
 - ボランティア体験を行い、発表する
 - ライフプランの作成(自分の将来設計を行い、プランを発表する)

新学校はみんなの取組みをうま〜い!

●幼稚園では

幼稚園の教育内容を充実

- 小学校以降を見通して、生活習慣の基盤づくりを進めます。
- 教育の質の向上を図るため、幼稚園の学校評価を進めます。

学校評価とは?

具体的な目標を立て、その成果を評価することでさらに幼稚園の魅力を高めていく取組みです。

●幼児教育推進モデル事業

- 幼児教育の「中身づくり」を進めるため、幼児教育推進研究協力者会議を設置し、幼稚園における効果的な指導方法やモデル的な教育課程などを検討し、全県への普及へつなげていきます。

●小学校では

少人数授業によるきめ細かな指導

- 生活習慣や学習習慣を身に付けるため、小学校1・2年生を対象に、少人数授業や複数教員による指導を行います。

例えは 35人を超えるクラスが3以上ある場合 35人を超えるクラスが2以下の場合

○小学校1年生 ○小学校1年生

先生1人 児童40人 先生1人 児童40人 先生1人 児童40人 先生1人 児童40人

先生1人 児童30人 先生1人 児童30人 先生1人 児童30人 先生1人 児童40人

先生1人 児童30人 先生1人 児童30人 先生1人 児童30人 先生1人 児童40人

早期に対応できる生徒指導体制の充実

- 対人関係や学力への不安解消を図り、不登校の未然防止などに役立てるため、非常勤講師の配置により、小学校6年生への少人数指導を行います。
- 不登校の未然防止や学校復帰に向けて意欲的に取り組む「不登校対策実践指定校(小・中各30校)」を指定し、指導体制の整備や小・中学校の連携を強化します。

●中学校では

少人数授業プロジェクト

- 国語・数学・英語の基礎学力定着をめざして、習熟度別指導などの少人数授業で一人一人に応じたきめ細かな指導を行います。

例えは 1クラスが30人を超える学校で...

先生1人 生徒40人

先生1人 生徒20人 先生1人 生徒20人

●高等学校では

すべての生徒に、主体的・計画的に学び続ける意欲や論理的思考力、表現力などを育む取組みを強化

- 「進学指導拠点校(5校)」「進学指導重点校(15校)」を指定し、実践的で先進的な取組みを進めます。
- NEW! 合同パワーアップ講座(拠点校・重点校)

拠点校・重点校ごとの合同学習合宿を行い、生徒が互いに学び合い、高め合います。
- NEW! 学習指導充実セミナー(重点校)

教員が、学習意欲の向上や自主的な学習態度の育成に結びつく指導方法などを研究・協議します。
- 全県立高等学校で、共通学力テスト、学習合宿、大学教員による模擬授業などを行い、基礎・基本の確かな定着を図るとともに、各学校の特色や生徒の実態に応じて、創意工夫を生かした総合的な学力向上対策を進めます。
- 就職指導体制を確立し、生徒の就業能力を高めたり、自己理解を深める取組みを強化
 - 就職指導推進重点校(3校)で体系的・実践的な就職指導モデルを開発し、その成果を他校へ普及していきます。
 - 生徒が産業教育に関する学習の成果を発表する「高校生スペシャリストの祭典」を開催します。

次世代の人材育成を支援する取組みを、地域へと広げていきます

「未来を拓くパイオニアスピリット養成事業」

中・高校生を対象とした、各界の第一人者の体験談や問題解決能力を磨くワークショップなどが盛り込まれた「パイオニアスピリット養成セミナー」。目標に向かってチャレンジする高い志と社会貢献への意欲と実践力を育むこの取組みを、本年度はさらに地域へと拡大。「地域版セミナー」の開催に向けたプレセミナーへの支援につなげていきます。

●特別支援教育

LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症などを含む障害のある幼児児童生徒に適切な指導や必要な支援を行う特別支援教育体制の整備を進めます。

●小・中学校などでは

- NEW! LD等の専門家巡回相談事業

大学教授や医師などの専門家が要請に応じて学校を訪問し、LDなどの幼児児童生徒の支援について、具体的な指導・助言を行います。
- NEW! 特別支援教育授業改善推進事業

研究指定校(小・中各1校)を指定し、障害児学級における教育課程の編成や障害の状態などに応じた指導の改善に取り組みます。

●盲・ろう・養護学校では

- NEW! 特別支援教育授業改善推進事業

研究指定校(3校)を指定し、教育課程の編成や障害の状態などに応じた指導の改善に取り組みます。
- NEW! 盲・ろう・養護学校就職指導充実事業

研究指定校(2校)を指定し、就職指導を進めるための体制づくりや職業教育に関する教育課程の研究に取り組みます。

おでかけガイド

詳細については、各施設にご確認ください。

広島県立美術館

☎082(221)6246
広島市中区上機町2-22

特別展「ペルシャ絨毯の世界」

■期間／4月25日(火)～6月4日(日)
■内容／絨毯・織物を通して見た東西文化の交流をテーマに、美術史・歴史上重要な作品約70点を展示し、絨毯の豊かな世界を紹介。



「ハツ星メダリオン草花文絨毯」(財)北観音山保存会蔵

広島県立歴史博物館

☎084(931)2513
福山市西町2-4-1

部門展「瀬戸内の塩業」

■期間／4月9日(日)まで
■内容／これまで同館が収集してきた塩業関係の考古資料や民具などを展示し、瀬戸内地域で盛んだった塩づくりの歴史を紹介。

部門展「福山城西三之丸の380年」

■期間／4月28日(金)～5月28日(日)
■内容／同館の所在地「福山城西三之丸」について、発掘調査資料や関係機関所蔵品などを展示し、福山のまちの変遷を紹介。



明治30年代の福山城西三之丸(現在の県立歴史博物館の場所)

中央の建物は福山高専女学校(福山葦陽高校の前身)

広島県立歴史民俗資料館

☎0824(66)2881
三次市小田幸町122

春の展示会「石器と土器のはなし'06」

■期間／4月21日(金)～6月11日(日)
■内容／石器や土器がどのようにして現在の道具につながったのかを児童生徒向けに分かりやすく展示。
■その他／期間中、4月23日、5月7日・21日、6月4日の日曜13時～14時に、展示解説会を開催。



(左)弥生土器 壺
(広島市安佐北区 寺迫遺跡)

(右)ナイフ形石器
(庄原市大原1号遺跡)

頼山陽史跡資料館

☎082(542)7022
広島市中区袋町5-15

特集展「頼家の五月人形と什器」

■期間／5月7日(日)まで
■内容／竹原の頼家に伝わる幕末から明治以降の五月人形や、頼家の人々の遺品などを展示。



昭和初期の五月人形

縮景園

☎082(221)3620
広島市中区上機町2-11

茶摘茶会

■日時／5月7日(日)
■内容／上田宗箇流和風会:古くから八十八夜に行われていた茶摘の行事に併せた、新茶と抹茶の接待による茶会。

広島県立図書館

☎082(241)2299
広島市中区千田町3丁目7-47
広島県情報プラザ内

資料展示

「瀬戸内海地域の製塩」

■日時／開催中(5月中旬まで)
※毎月第2・4土曜実施
■内容／同館で重点的に収集している瀬戸内海関係資料のうち、製塩関係資料を展示・紹介。
■参加費／無料

おはなし会

■日時／4月8日(土)11時～11時40分
※毎月第2・4土曜実施
■内容／図書館司書やボランティアによる児童資料の読み聞かせ。
■参加費／無料

ひろしまおはなしの旅2006

■日時／4月22日(土)11時～:おはなし会、13時～:図書館探検隊(おはなし会付き)
■内容／図書館司書や県立図書館中・高校生ボランティア「来(ら)いぶらり・フレンズ」が児童資料の読み聞かせや、普段は見ることのできない地下書庫をクイズ形式で案内。
■参加費／無料

書庫見学ツアー

■日時／4月23日(日)15時～15時40分
※毎月第4日曜実施
■内容／普段は見ることのできない地下書庫を、図書館職員が案内。
■定員／10人(当日14時30分より受付)
■参加費／無料



理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の募集

盲・ろう・養護学校の児童生徒を指導していただける理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の方を募集しています。詳しくは、広島県教育委員会ホームページをご覧ください。

就業体験受入事業所の募集

盲・ろう・養護学校では、生徒が自立し、社会参加するために、企業などでの就業体験(インターンシップ)を行いながら、卒業後の就労をめざしています。生徒は、さまざまな職種の就業体験を希望しています。就業体験を受け入れてくださる企業などがございましたら、情報をお寄せください。

お知らせ

お問い合わせ

広島県教育委員会 特別支援教育室 ☎082(513)4982

ご利用ください

広島県高等学校等奨学金

経済的理由により、修学が困難と認められる高校生などを対象に、修学に必要な学資金の一部を貸与します。

■貸付月額 [国公立] 自宅通学 18,000円 自宅外通学 23,000円
[私立] 自宅通学 30,000円 自宅外通学 35,000円

■貸付利息 無利息

■貸付対象 [1] 高等学校、高等専門学校、盲学校・ろう学校・養護学校の高等部及び専修学校高等課程に在学していること
[2] 保護者が広島県内に住所を有すること
[3] 経済的理由により修学が困難であること
[4] 学習状況が良好または、学習成績が良好であること
※[1]～[4]をすべて満たしている人

■貸付期間 貸付を受ける者が在学する学校の標準の修業年限
■償還期間 貸付終了後6カ月据置後、10年以内の期間に償還
■貸付人員 2,300人程度
■受付期間 平成18年4月下旬～6月上旬

日本学生支援機構(旧日本育英会)の高校奨学金は、平成17年度の高等学校等入学生から、広島県教育委員会にて実施しています。

※盲学校・ろう学校及び養護学校への就学奨励に関する法律に基づく就学奨励費、母子及び寡婦福祉法による修学資金などとの併給はできません。

お問い合わせ

通学先の各学校または広島県教育委員会 指導第二課 ☎082(513)4996

募集

平成18年度 皆さんの声を今後の教育施策に生かします!

広島県教育モニター(公募)

インターネットを利用した年3回のアンケート調査にお答えいただけます。(モニター決定の日(5月下旬予定)から平成19年3月31日まで)

■募集期間 平成18年4月3日(月)～5月15日(月)
■募集人数 300人
■応募資格 次のすべてを満たす方(詳細は広島県教育委員会のホームページ(HP)をご覧ください)
(1)学校教育に関心があり、県内に居住する満18歳以上(平成18年4月1日現在)の方
(2)国または地方公共団体の議会議員及び常勤の公務員でない方
(3)実施期間中に、公的なモニターをする予定のない方
(4)個人のメールアドレス(携帯電話は不可)を有する方
■応募方法 広島県教育委員会HP内「広島県教育モニター」のページから、募集期間中に設置する「申し込みフォーム」で応募してください。

広島県教育委員会HP <http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/hotline>

※インターネットを利用できない方で応募を希望される方は、下記へお問い合わせください。

■記念品 年3回のアンケートに全てお答えいただいた方に、500円の図書カードを進呈します。

個人情報の取扱いについて

申し込みされる方の個人情報を保護するため、通信の暗号化を行っています。

お問い合わせ

広島県教育委員会 教育政策室 ☎082(513)4935

なるほど教育!

おしえて広場

皆さんからの質問や素朴な疑問に、【Vol.3】
広島県教育委員会がお答えします。

<素朴な疑問・質問 大募集!>

本コーナーで聞いてみたい疑問・質問を、どんどん下記宛先へお寄せください。採用された方には、粗品を進呈します。

■応募方法 はがきに「あなたが聞いてみたいこと」、名前、住所、「くりっぶ」へのご意見・ご感想を書いて郵送してください。

※個人情報はプレゼントの発送にのみ使用します。



学校にはなぜPTAがあるのですか?



PTAは、保護者と教職員が「子どもたちの健やかな成長」を願って組織した団体です。

PTAは保護者と教職員(学校)が共に理解・協力しあいながら、児童生徒の健全な成長を図ることを願って、自主的に運営しています。その目的達成のためには、保護者と教職員がそれぞれの役割を担い、人間関係を深める中で積極的に話し合い、保護者は学校を理解し、教職員は家庭を知り、相互に支援しあうこと

が大切です。PTAの活動が活発であることは、児童生徒の教育にとって非常に大切なことといえます。

PTAは学校ごとに組織され、その活動は学校の教育活動に深い結びつきを持っています。PTAが自主性を持つと同時に、学校と連携して運営することが大切です。

ご意見などは、広島県政もみじファクスや郵送でも受け付けています。

広島県教育委員会教育長ホームページ <http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/hotline/>

県政もみじファクス FAX 082(224)1122 ボックス番号 80034

郵送 〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会総務課教育政策室 宛

Eメール kyoukouhou@pref.hiroshima.jp

<編集・発行> 広島県教育委員会総務課教育政策室
〒730-8514 広島市中区基町9番42号
☎082(513)4934

●点字版の「くりっぶ」を発行しています
ので、希望される方はご連絡ください。

